

不忍通りの取組について

1 背景・目的

上野地区まちづくりビジョンに掲げる「杜とまちを自由に行き交うことができるひと中心の空間活用」の視点を踏まえ、杜とまちを繋ぐ不忍通りは、居心地が良く歩きたくなるウォークブルな道路空間への転換を目指している。

この方向性に基づき、地域の方々や関係機関と連携しながら、道路空間再編に向けた検討を進め、杜とまちの回遊性向上や地域の価値・魅力の創出を図っていく。

2 東京都における不忍通りの方向性

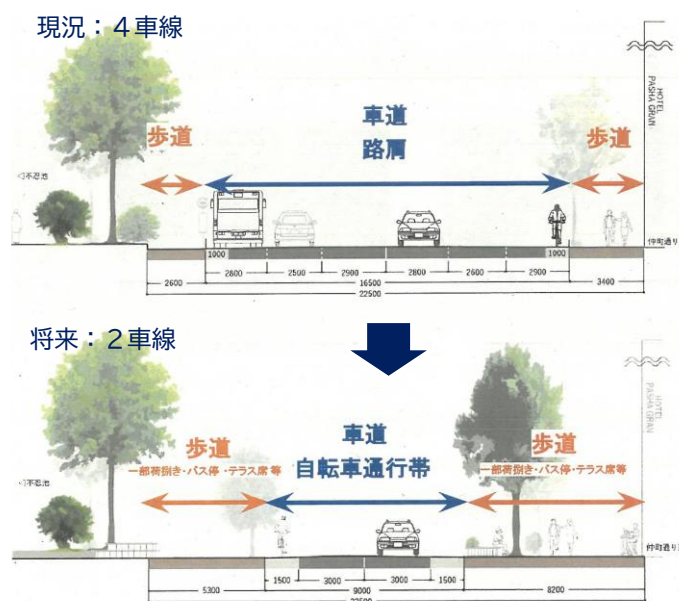
令和8年3月に東京都が策定した「東京における都市計画道路の整備方針」において、不忍通り(池之端一丁目交差点から上野四丁目交差点までの区間)が、国際都市東京の魅力向上に資する観点から、ひと中心の道路空間への再編を目指していく路線(以下「リーディング路線」という)として選定された。

今後、リーディング路線については、都と区との連携・役割分担のもと、地域の方々との合意形成や検討状況に応じて段階的に取組を進めながら、事業化を図っていくものとされている。

3 地域における検討状況

地元の商店会や町会等の方々に構成される「しのばずいけまち研究会」(以下「研究会」という)は、車線を4車線から2車線に減じ、歩道を拡幅のうえ、テーブル・ベンチ等を設置し、不忍池や沿道建物と一体となった憩い・賑わいのある道路空間の創出に向けた検討を行っている。

8月上旬には、研究会が沿道地権者を対象とした説明会を開催し、道路空間再編の方向性を共有している。



4 今後の取組

区は、不忍通りの将来イメージの具体化に向け、2車線化した場合の自動車交通への影響や歩行者空間の活用方法を検証することを目的として、研究会と連携し、車線を片側1車線ずつ減少させ、歩行者空間を拡充・活用する社会実験を実施する。

(1) 日時（予定）

令和8年10月17日（土）15～20時、18日（日）10～17時

(2) 道路空間の活用方法(案)

- ・書籍、飲食、物販のブックカフェ屋台の出店による地域の魅力発信
- ・人工芝、テーブル・イス等の設置による居心地の良い滞在空間の創出
- ・不忍池のほとり、水上音楽堂、吹貫横丁と一体的な憩い・賑わい空間の演出

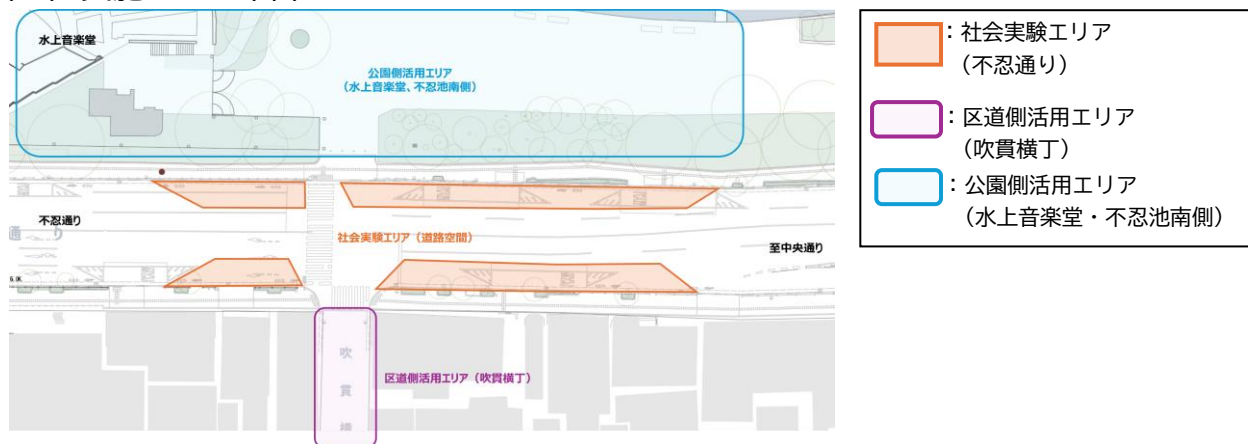


道路空間活用イメージ

(3) 実施体制

主催：しのばずいけまち研究会、共催：区、元黒門町会、池之端仲町商店会

(4) 実施エリア(案)



(5) 周知方法

広報たいとう、ホームページ、SNS、ポスター、チラシ等

5 今後の予定

令和8年10月17日、18日 社会実験実施

令和8年第4回定例会

産業建設委員会報告（社会実験結果）